

事務事業調書

平成27年度

事業No	716	課	生涯学習課	係	生涯学習係	起案者	稲垣敦則
						決裁者	沓名勉
事務事業名	市民憲章推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 1 生涯学習の推進 1 生涯学習の推進 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-25-5		
				総合計画以外の計画		生涯学習推進計画		
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	有	市民憲章推進協議会会則						
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託		委託先	行政関連団体				
実施期間	開始	昭和48年度		経過	42年目		終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	市民が				~になる	市民憲章の精神を理解し、実践活動を行う。	
事務事業の内容	業務委託している市民憲章推進協議会を通して、市民一人ひとりが市民憲章の精神を理解し、その実践に向けて個人・グループ・団体ぐるみで活動できるよう推進します。毎年、総会を開催し、市民憲章の普及に努めています。							
改善・対策の履歴	平成17年度に市民憲章活動助成事業実施要綱を改正し、市民憲章の精神に沿った事業に助成を行っています。 平成18年度から実践者表彰を行うことにより、それ以前の講演会をとりやめました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	778	904	1,030	1,030	1,030
財源計	400	400	400	400	400
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	400	400	400	400
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	378 (0.06)	504 (0.08)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	市民憲章活動助成事業	見込	2.00	2.00	2.00	1.00
			実績	2.00	1.00	2.00	
	指標名 (単位)	活動助成団体数(団体)	活動の総事業費(千円)	259	234	263	
			活動にかかるコスト(千円)	129.50	234.00	131.50	
活動2	活動名 (活動内容)	市民憲章実践者表彰事務	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	表彰一式(一式)	活動の総事業費(千円)	69	136	199	
			活動にかかるコスト(千円)	69.00	136.00	199.00	
活動3	活動名 (活動内容)	市民憲章啓発用品配布	見込	10.00	10.00	10.00	10.00
			実績	20.00	8.00	12.00	
	指標名 (単位)	配布数(枚)	活動の総事業費(千円)	319	404	375	
			活動にかかるコスト(千円)	15.95	50.50	31.25	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	85.00	85.00	85.00	85.00
	市民憲章唱和实施率(%)			実績	71.26	79.72	82.11	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	未達成	未達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	長きにわたる地道な推進活動により、現在、市民憲章は世代を超えて市民全体へと普及し、定着してきています。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
活動コスト	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等
	市民憲章活動助成事業で対象が2団体となったため、単位コストが減少しました。 市民憲章実践者表彰事業については、毎年の表彰者数によって事業費が変動します。 市民憲章啓発用品(パネル)を購入しましたが、配布枚数が増加したため、単位コストが減少しました。
成果	数値は伸び悩んでいますが、「市外の者が含まれる会議では唱和しない(アンケート調査)」など制約もある中で、可能な限り実施してもらっている結果と思われます。 活動助成事業(団体)募集や実践者(表彰候補者)推薦募集については広報掲載し、また、実績を総会で報告することにより市民憲章への関心を引くことができました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
市民憲章活動助成事業についても、広報掲載のみでなく、町内会や各市民団体へもPRするよう努めます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	明るく住みよい地域社会の実現のため、市民憲章活動助成事業及び実践者表彰を積極的にPRし、これらの実績を通して市民憲章の推進を図る必要があります。

事務事業調査

平成27年度

事業No	717	課	生涯学習課	係	生涯学習係	起案者	稲垣敦則
						決裁者	沓名勉
事務事業名	生涯学習計画推進事業				事業種別	企画・計画策定	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 1 生涯学習の推進 1 生涯学習の推進 1 生涯学習の推進 1 総合的な生涯学習の推進 1 総合的な生涯学習の推進			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		50-25-5			
				総合計画以外の計画		生涯学習推進計画			
				関連する総合計画の施策					
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	有	社会教育法第15条							
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	有	公民館運営審議会を廃止し、社会教育審議会に一元化する。(H12.3)							
陳情・市民要望	無								
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	平成17年度		経過	10年目	終了	平成27年度	期間	11年
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		生涯学習推進計画が			~になる		計画どおりに進捗する。	
事務事業の内容	社会教育審議会、生涯学習懇話会などを開催して幅広い意見を伺うことにより、第2次安城市生涯学習推進計画(平成17年度から27年度)における「市民主体の生涯学習」「地域を育む生涯学習」「人を育てる生涯学習」の基本方針に沿った効果的な生涯学習の推進を図ります。 平成25年度から27年度の3カ年で、第3次安城市生涯学習推進計画を策定します。								
改善・対策の履歴	平成17年度に第2次安城市生涯学習推進計画を策定しました。 現計画の後継計画としてより良い生涯学習の環境を整えるため、平成25年6月から第3次安城市生涯学習推進計画の策定手続(平成28年3月まで)を開始しました。策定委員会・作業部会・幹事会を組織し、それぞれ会議を開催しました。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	2,903	6,482	7,691	7,255	5,076
財源計	194	2,324	3,281	2,845	666
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	194	3,281	2,845	666
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,709 (0.43)	4,158 (0.66)	4,410 (0.70)	4,410 (0.70)	4,410 (0.70)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	社会教育審議会の開催	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	1,643	1,168	945	
			活動にかかるコスト (千円)	821.50	584.00	472.50	
活動2	活動名 (活動内容)	生涯学習推進委員会の開催	見込	1.00	1.00	4.00	3.00
			実績	0.00	2.00	5.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	0	1,173	945	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	586.50	189.00	
活動3	活動名 (活動内容)	生涯学習懇話会の開催	見込	4.00	2.00	5.00	0.00
			実績	0.00	1.00	6.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	0	632	1,260	
			活動にかかるコスト (千円)	0.00	632.00	210.00	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	440.00	440.00	440.00	440.00
	生涯学習推進計画関連事業実施数(事業)			実績	592.00	589.00	600.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
				目標				
成果2				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	社会教育委員が県の社会教育委員連絡協議会の研修会等に参加することにより、委員による生涯学習に関する多様な意見・提言をいただいています。 社会教育委員が生涯学習推進計画策定委員を兼任することにより、今後の社会情勢を見据えた次期計画が策定されることが期待されます。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
活動コスト	内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等 第3次安城市生涯学習推進計画策定のための作業部会（従来の生涯学習懇話会に相当するもの）を6回、策定委員会（従来の生涯学習推進委員会に相当するもの）を5回開催し、それぞれ開催回数が増えたため、ともに単位コストが減少しました。 策定にあたりプロポーザル方式による委託契約を締結したため、当該委託費が事業費に含まれています。（H25：1,785千円 H26：2,160千円 H27：1,340千円）
	他部署における積極的な業務推進によって生涯学習に関連する事業が開催されています。 社会教育委員が他市の生涯学習推進活動等について学習し、情報交換をして頂いたことにより、本市における今後の推進計画策定に向けて、有益な意見をお聞きできるものと思われます。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
各課ごとに行われている同質の事業がある場合、統合などにより効果的に実施できないか、各種会議で検証を行います。 現在、第3次安城市生涯学習推進計画の策定に向けて作業中ですが、現状の課題を踏まえ、かつ、作業部会のメンバー（市民団体・公募市民）の意見が当該計画内容に十分反映されるよう努めます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	生涯学習の推進のため、各方面からの意見・提言などを聴取する必要があります。また、市民協働のもと、平成27年度末までに第3次安城市生涯学習推進計画を策定します。

事務事業調査

平成27年度

事業No	718	課	生涯学習課	係	生涯学習係	起案者	杉江美奈子
						決裁者	沓名勉
事務事業名	生涯学習市民参画推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 1 生涯学習の推進 1 生涯学習の推進 2 支援体制の整備 2 生涯学習ボランティアセンターの充実			予算科目(会計)		一般会計			
				予算科目(款・項・目)		50-25-5			
				総合計画以外の計画		生涯学習推進計画			
				関連する総合計画の施策		4-1-1-2-3			
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの				
根拠法令	有	公民館の設置及び運営に関する基準第3条第1項							
法定受託事務	無								
公約・議会答弁	有	ボランティアで活動している生涯学習活動援助について、ボランティアセンターを設置し、3団体が講座を開催							
陳情・市民要望	無								
実施方法	直営		委託先						
実施期間	開始	平成13年度		経過	14年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が		生涯学習に意欲のある市民団体が			~になる		市と協働することにより、活発に活動できるようにする。	
事務事業の内容	市民団体が企画運営する講座を募集し、市と協働で「市民企画講座」を開講します。 自主グループが自ら主催する初心者向けの「自主グループ主催講座」を開講します。								
改善・対策の履歴	市民団体の育成を図るため、市民企画講座を前期・後期(年間)に分けて実施しました。 自主グループの自主性を伸ばすため、自主グループ主催講座を実施しました。 H25年度に、市民企画講座募集記事の掲載を、広報あんじょうから生涯学習情報誌「あんてな」に変更しました。 市民企画講座企画募集を広く周知し、定数以上の応募数を確保しました。								

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,467	3,432	3,475	3,376	3,475
財源計	758	975	955	856	955
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	68	45	77	45
	一般財源	690	910	779	910
受益者負担金	68	115	45	77	45
職員人件費 (従事職員数)	2,709 (0.43)	2,457 (0.39)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	市民協働（企画）講座の実施	見込	2.00	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	2.00	2.00	
	指標名 (単位)	実施期数（期）	活動の総事業費（千円）	2,081	2,550	2,431	
			活動にかかるコスト（千円）	1,040.50	1,275.00	1,215.50	
活動2	活動名 (活動内容)	自主グループ主催講座の実施	見込	40.00	40.00	40.00	30.00
			実績	30.00	22.00	24.00	
	指標名 (単位)	実施グループ数（団体）	活動の総事業費（千円）	315	189	315	
			活動にかかるコスト（千円）	10.50	8.59	13.13	
活動3	活動名 (活動内容)	その他（出前講座）	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	活動（一式）	活動の総事業費（千円）	1,071	693	630	
			活動にかかるコスト（千円）	1,071.00	693.00	630.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名（単位）				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	市民との協働による講座開催数（講座）			目標	11.00	11.00	11.00	11.00
				実績	23.00	24.00	24.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	生涯学習ボランティアセンター利用団体数（団体）			目標	15.00	15.00	15.00	15.00
				実績	15.00	15.00	15.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	「個人の要望」と「社会の要請」をふまえた講座の実施ができました。 市民の自由な発想と行動力を生かした講座の実施ができました。 講座受講者から新たな自主活動団体が生まれました。 新規の市民団体も含め、市民企画講座への応募が増えました。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	市民企画講座への応募が増加したことにより採用数も増え、活動コストが増加しました。
成果	講座を受講した市民が今度は講座を開講する立場になるという、生涯学習の理想的な姿が実現されてきています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
市民主体の生涯学習の推進を図るため、市民企画講座を活用するよう広く呼びかけます。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	生涯学習の推進のため、市民との協働を図っていく必要があります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	719	課	生涯学習課	係	生涯学習係	起案者	清水菜央
						決裁者	沓名勉
事務事業名	家庭教育・子育て支援事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年・成人・高齢者 1 青少年の育成 1 青少年健全育成 3 家庭教育の推進			予算科目(会計)		一般会計	
				予算科目(款・項・目)		50-25-5	
				総合計画以外の計画		安城市生涯学習推進計画	
				関連する総合計画の施策			
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの		
根拠法令	有	社会教育法第5条第1項第7号					
法定受託事務	無						
公約・議会答弁	無						
陳情・市民要望	無						
実施方法	一部委託	委託先	N P O				
実施期間	開始	平成17年度	経過	10年目	終了	期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	親が			~になる	子育てに関する講座や交流の機会を多く得ることができる。	
事務事業の内容	よりよい家庭教育の推進、社会教育の観点から子育ての支援を図るため、次の事業を実施しています。 ・家庭教育講演会（市PTA連絡協議会と共催）年1回 ・子育て・親子広場（ほのほの広場、親子講座）開催 * 委託事業						
改善・対策の履歴	昭林公民館の子育て交流広場、親子講座は平成22年度から子ども課へ移管しました。また、平成22年度に県事業で実施した東部公民館の事業は、平成23年度から生涯学習課事業として継続実施しています。 平成26年度の子育て講座では、興味の高い「食」をテーマとした講座を実施し、親子で一緒にごはんを作る体験をととして親子のふれあいを支援しました。						

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	1,360	1,492	1,652	1,534	1,652
財源計	919	988	1,022	904	1,022
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	919	988	1,022	904
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	441 (0.07)	504 (0.08)	630 (0.10)	630 (0.10)	630 (0.10)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	ほのぼの広場の運営	見込	44.00	46.00	47.00	47.00
			実績	43.00	46.00	47.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	566	604	677	
			活動にかかるコスト (千円)	13.16	13.13	14.40	
活動2	活動名 (活動内容)	親子講座の実施	見込	5.00	6.00	6.00	5.00
			実績	5.00	6.00	5.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	158	121	150	
			活動にかかるコスト (千円)	31.60	20.17	30.00	
活動3	活動名 (活動内容)	家庭教育講演会	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催回数(回)	活動の総事業費 (千円)	636	767	707	
			活動にかかるコスト (千円)	636.00	767.00	707.00	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	450.00	450.00	450.00	450.00
	ほのぼの広場への参加者数(人)			実績	822.00	1,005.00	1,006.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
	親子講座への参加者数(人)			目標	60.00	60.00	60.00	60.00
成果2				実績	94.00	97.00	26.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	未達成	

5 成果1、2以外の成果	
成果	「ほのぼの広場」はHPや口コミにより、「母も子ども支援者も共に学びあい育ち合うひろば」として、子育て中のママに受け入れられてきています。 初対面の親同士が広場でつながりができ、常連になってくださる方もできました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	親子講座は開催回数により、また、家庭教育講演会は講師の選定によりコストが変動します。
成果	ほのぼの広場では、いつでも誰かと触れ合える環境にすることに努めた結果、新規及びリピーターの参加者が増加しました。 子どもの状況を常に気にしなくとも、親同士気軽に触れ合えるという気楽なスタイルも増加の要因のひとつと考えます。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
実績と成果を踏まえ、利用者のニーズを反映した事業内容とする必要があると考えます。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	子どもの健やかな成長を目的に、社会教育の観点から事業を推進する必要があります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	720	課	生涯学習課	係	生涯学習係	起案者	杉江美奈子
						決裁者	沓名勉
事務事業名	生涯学習情報提供事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 1 生涯学習の推進 1 生涯学習の推進 2 支援体制の整備 4 生涯学習情報提供システムの充実			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-25-5		
				総合計画以外の計画		生涯学習推進計画		
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	全部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始		経過		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	市民が			～になる	生涯学習情報を容易に得ることができる。		
事務事業の内容	生涯学習課だけでなく、他課の生涯学習事業を掲載した生涯学習情報誌「あんでな」を発行（委託）し、市内全戸に配布します。市公式ウェブサイトからの情報発信も行います。							
改善・対策の履歴	H18年度にガイドブック・生涯学習情報誌・子ども情報誌を合併しました。発行回数を年4回とし、配布方法も市内全戸配布へ変更しました。 H25年度にeモニターによるアンケート調査を実施し、意見の多かった項目について対処しました。有料広告掲載を開始し、自主財源を確保しました。 H26年度に用紙品質の変更、新コーナー開設、他事業との連携記事掲載等の改良を行いました。広告料の見直しや積極的な売り込み等により、有料広告掲載事業者を確保しました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	10,038	9,763	10,210	9,837	10,210
財源計	6,699	6,676	7,060	6,687	7,060
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	1,200	680	840
	一般財源	6,699	5,860	6,007	6,220
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	3,339 (0.53)	3,087 (0.49)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)	3,150 (0.50)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	生涯学習情報誌作成	見込	4.00	4.00	4.00	4.00
			実績	4.00	4.00	4.00	
	指標名 (単位)	回数(回)	活動の総事業費(千円)	9,849	9,763	9,837	
			活動にかかるコスト(千円)	2,462.25	2,440.75	2,459.25	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費(千円)				
			活動にかかるコスト(千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	講座情報入手のための情報誌活用率(%)			目標	70.00	70.00	70.00	70.00
				実績	86.00	86.00	82.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
成果2	講座情報のホームページへの掲載回数(回)			目標	4.00	4.00	4.00	4.00
				実績	4.00	4.00	4.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	アンケート調査の結果をもとに改善を行い、更に親しみやすい情報誌となりました。 市公式ウェブサイトからの情報発信を継続しています。
----	---

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	委託事業のため、事業費の変動があります。
成果	全戸配布することにより、生涯学習情報を入手する手段としての認知度が向上しています。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
単にイベント・講座の情報提供を行うだけではなく、市民が気軽に学ぶことができるよう多様な情報提供を行うことで付加価値を高めます。	

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	生涯学習を奨励するため、市民に多様な情報を提供していく必要があります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	721	課	生涯学習課	係	生涯学習係	起案者	原田敬章
						決裁者	沓名勉
事務事業名	社会教育団体支援事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年・成人・高齢者 2 成人・高齢者の学習 3 市民参加の促進 1 市民参加の促進			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-25-5		
				総合計画以外の計画		生涯学習推進計画		
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営	委託先						
実施期間	開始		経過		終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	社会教育団体が			~になる	有意義で円滑な活動と交流を図ることができる。		
事務事業の内容	社会教育団体（婦人会、市PTA連絡協議会、少年少女発明クラブなど）に対し、事務の支援・指導及び必要に応じ補助金を交付します。							
改善・対策の履歴	支援団体の会場使用料を2分の1補助していたが、とりやめました。 安城婦人会の補助金をとりやめました。 市PTA連絡協議会への補助金は平成23年度から臨時的な大会参加旅費を必要に応じて補助することとしました。 少年少女発明クラブの補助金を見直しました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	3,455	4,520	4,520	4,520	4,520
財源計	1,250	2,000	2,000	2,000	2,000
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,250	2,000	2,000	2,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,205 (0.35)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)	2,520 (0.40)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	発明クラブ支援事務一式	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	支援事務(一式)	活動の総事業費(千円)	1,565	2,504	2,504	
			活動にかかるコスト(千円)	1,565.00	2,504.00	2,504.00	
活動2	活動名 (活動内容)	婦人会支援事務一式	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	支援事務(一式)	活動の総事業費(千円)	126	126	126	
			活動にかかるコスト(千円)	126.00	126.00	126.00	
活動3	活動名 (活動内容)	市P連支援事務一式	見込	1.00	1.00	1.00	1.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	支援事務(一式)	活動の総事業費(千円)	1,764	1,890	1,890	
			活動にかかるコスト(千円)	1,764.00	1,890.00	1,890.00	

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	発明クラブ活動回数(回)			目標	21.00	23.00	23.00	23.00
				実績	21.00	23.00	28.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	達成	達成	
	市P連実施事業数(件)			目標	8.00	8.00	8.00	8.00
成果2				実績	8.00	7.00	8.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	達成	未達成	達成	

5 成果1、2以外の成果

成果	発明クラブ：事務局を文化センター内に移転したことにより活動しやすい環境が図られています。また、クラブ員及び指導員が増加しています。 市P連：様々な事業を通じ、保護者相互の交流が図られるとともに地域を知るきっかけにもなっています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	発明クラブ：専従指導員を2名配置し活動の活性化を図るため、補助金を75万円増額しました。 市P連：23年度は臨時的補助金を交付しましたが、24年度からは団体会計内で処理しました。
成果	発明クラブ：適切な補助金の交付により、クラブ活動が活発化しカリキュラムも充実したものになってきました。 市P連：会員の自主的な運営を働きかけることにより、より効果的で効率的な事業運営となってきました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
各団体の目的達成のための適切な指導助言を行い、補助金については毎年精査し、効果的な支援とします。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性
維持・継続 社会教育の発展のため、各団体の事業効果が上がるような指導・育成を行っていく必要があります。

事務事業調書

平成27年度

事業No	873	課	生涯学習課	係	生涯学習係	起案者	稲垣敦則
						決裁者	沓名勉
事務事業名	放課後子どもプラン推進事業				事業種別	市民サービス	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年、成人・高齢者 1 青少年の育成 4 子どもの居場所づくり 1 地域子ども教室			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-25-5		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	有	市長マニフェスト、平成20年度3月議会本会議答弁、平成21年度3月議会本会議答弁、平成26年度9月議会本会議答弁						
陳情・市民要望	無							
実施方法	直営	委託先						
実施期間	開始	平成20年度		経過	7年目		終了	期間
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	子どもたちが				~になる	体験と交流により心豊かで健やかに成長する。	
事務事業の内容	子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、子どもたちにとって最も身近な学校において子どもたちの安全・安心な活動拠点を整備し、地域の大人たちの参画を得て、スポーツや文化活動等の様々な体験活動や地域住民との交流活動等の取り組みを実施します。							
改善・対策の履歴	23年の事業について、梨の里・桜井小学校の保護者と参加児童にそれぞれアンケート調査を行いました。スタッフが他の放課後子ども教室に参加し、3校のコーディネーター同士の情報交換の場を持ちました。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	5,040	5,479	5,457	5,351	5,457
財源計	2,205	2,455	2,622	2,516	2,622
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	1,461	1,748	1,190	1,748
	市債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	744	1,185	1,326	874
受益者負担金	0	0	0	0	0
職員人件費 (従事職員数)	2,835 (0.45)	3,024 (0.48)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)	2,835 (0.45)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動1	活動名 (活動内容)	放課後子どもプラン運営委員会	見込	3.00	3.00	2.00	2.00
			実績	1.00	1.00	1.00	
	指標名 (単位)	開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	669	668	471	
			活動にかかるコスト (千円)	669.00	668.00	471.00	
活動2	活動名 (活動内容)	学区子ども教室運営委員会	見込	3.00	3.00	3.00	3.00
			実績	3.00	3.00	3.00	
	指標名 (単位)	開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	126	126	126	
			活動にかかるコスト (千円)	42.00	42.00	42.00	
活動3	活動名 (活動内容)	放課後子ども教室	見込	80.00	80.00	80.00	80.00
			実績	87.00	84.00	76.00	
	指標名 (単位)	開催数(回)	活動の総事業費 (千円)	4,245	4,685	4,754	
			活動にかかるコスト (千円)	48.79	55.77	62.55	

4 成果指標と実績の推移				年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果1	指標名(単位)			目標	100.00	100.00	100.00	100.00
	放課後子ども教室参加人数(人)			実績	67.00	102.00	114.00	
	目標達成年度	目標成果指標値	0.00	達成状況	未達成	達成	達成	
成果2				目標				
				実績				
	目標達成年度	目標成果指標値		達成状況				

5 成果1、2以外の成果	
成果	講師を地元住民、団体などに依頼することで、地域の連携を図ることができました。

6 各活動にかかるコストと成果の分析	
内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	教室については、活動回数や依頼講師により事業費の変動があります。 スタッフ以外にも保護者を中心にボランティアを募集し、コストの軽減に努めました。
成果	コーディネーター・スタッフの充実及び多様なメニューを用意することで参加者が増加し、目標を達成しました。

7 所属長の改善案	
コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案	
児童クラブと調整し、今後の運営方法を検討します。	

8 方向性	
必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	国の放課後子ども総合プランを踏まえ、今後の開催方法を研究していきます。